

平成26年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実施報告書

HT26012

【RNAを探せ！～胚における遺伝子発現解析～】



開催日：平成26年7月19日(土)
平成26年7月20日(日)

実施機関：岩手大学
(実施場所) (工学部)

実施代表者：荒木 功人
(所属・職名) (岩手大学工学部・准教授)

受講生：高校生12名

関連URL：<http://www.iwate-u.ac.jp/news/news201408.shtm>

【実施内容】

・受講生に分かりやすく研究成果を伝えるために、また受講生に自ら活発な活動をさせるためにプログラムを留意、工夫した点

実験の背景説明を記載した資料を参加者に事前に郵送した。参加者の理解を助けるため、事前配付資料および当日配付資料にはカラーの図を多用した。また、当日の解説にはムービーやパワーポイントを用いた。北東北の生徒は特におとなしいので、参加者に発言するよう常時促した。

・当日のスケジュール

1日目 [7月20日(土)]

11:30-12:00 受付

12:00-12:30 オリエンテーション(挨拶、プログラム紹介、科研費の説明)

12:30-13:00 講義: in situハイブリダイゼーションの原理

13:00-17:00 実験: ホールマウントin situハイブリダイゼーション1日目(反応の待ち時間を利用して、休憩)

2日目 [7月20日(日)]

9:30-10:00 受付

10:00-16:00 実験: ホールマウントin situハイブリダイゼーション2日目
(反応の待ち時間を利用して昼食、休憩、講義: 脊索動物の発生)

16:15-16:30 アンケート記入

16:30-17:00 修了式

17:00 終了・解散

・実施の様子



マイクロピペターの
操作方法の説明



ヒートブロックに標本



修了式において、船崎工学部長から
未来博士号を授与される参加者

・事務局との協力体制

本学地域連携推進課が事務処理を、研究推進課外部資金戦略・管理グループが経理を担当し準備段階から事後処理までを連携して行った。昨年度と事務担当部署が変わったが、特に大きな問題は発生しなかった。

・広報活動

例年の参加者が北東北と宮城県に限られていたので、それら以外の県からの参加が容易になるよう、初めて海の日の連休に実施したが裏目に出た。即ち、実施日が例年参加者が多かった幾つかの高校の行事と重なり、県内の高校生のみでの参加となった上、定員に参加者が達しなかった。来年度以降は海の日の連休は避け、昨年度までのように7月最終週の週末に行うのが無難だと思われる。

・安全配慮

実習の安全確保も兼ねて、受講生4人に1人の割合で実施代表者およびティーチングアシスタント(実施協力者)をつけた。また、万が一に備え、短期のレクリエーション保険で受講生と実施協力者をカバーした。幸い、軽微なものも含め事故は発生しなかった。

・今後の発展性、課題

前述したとおり、今年度は開催時期に問題があったと考える。ただ、ひらめき☆ときめきサイエンスの申請時期である1月初旬に、各高校の夏の詳細な予定を把握するのは困難であることが多いので、いつ開催するのがベストであるかの判断はなかなか難しい問題である。アンケート結果からも、多くの参加者の科学への関心をうまく喚起出来たのではないかと考える。北東北における科学の振興のため、今後もこのような企画を実施していきたい。

【実施分担者】

なし

【実施協力者】 2名

【事務担当者】

成田 浩子

研究交流部地域連携推進課地域連携グループ